

2021年4月4日
ペットファースト株式会社

CSR活動「Pets always come first プロジェクト」 ～聴導犬育成支援 11 頭目の聴導犬誕生！～

ペットファースト株式会社は CSR 活動「Pets always come first プロジェクト」のひとつである、【聴導犬育成支援】の活動として公益財団法人 日本補助犬協会への聴導犬育成支援を行っています。この度、3月6日の第36回身体障害者補助犬認定審査会において11頭目の“ペットファースト聴導犬”が誕生しました。

■11頭目のペットファースト聴導犬「餡子ちゃん」誕生！

3月6日に行われた第36回身体障害者補助犬認定審査会において、ペットファーストが育成支援している「餡子ちゃん」が見事、聴導犬として認定されました。



名前：餡子
性別：女の子
犬種：トイ・プードル
訓練開始日：2021年4月1日
聴導犬認定日：2022年3月6日
性格：人への愛着が高く、よく人を観察している。人と遊ぶこと、人と一緒に何かをすることが大好き。

※ペットファースト聴導犬とは…ペットファーストが聴導犬の育成に対して支援を行った犬。

■聴導犬とは

視覚・聴覚、身体の一部が不自由な方のサポートをする犬を「補助犬」といい、その活躍の場は近年徐々に広がっています。その中でも聴覚が不自由な方の生活をサポートする犬が「聴導犬」です。

聴導犬の主な仕事は、家の中での音の発生を飼い主に知らせ、音の鳴る場所まで誘導することです。赤ちゃんの泣き声、ドアのチャイム、携帯電話の着信音、目覚まし時計のアラーム音など、生活していく上で必要な様々な音を覚えてユーザーの方に知らせてくれる大切なパートナーです。

しかし、日本では“盲導犬が861頭”（2021年3月31日時点 日本盲人社会福祉施設協議会・自立支援部会盲導犬委員会調べ）に対して、“聴導犬は61頭”（2021年10月1日時点 厚生労働省調べ）と、まだまだ数が少ないのが現状です。

■ペットファーストの聴導犬育成支援について

2016年8月から聴導犬の育成支援を行っています。私たちは、ペットとお客様の双方に幸せなペットライフをお届けすることが最高の幸せと考えているため、ペットの販売だけでなく、補助犬の分野にも携わり社会に貢献できないかと考えて発足したのが、「聴導犬育成支援」でした。

▼ペットファーストの主な支援内容

- ①実働聴導犬の活動支援
→すでに聴導犬として認定を受けている聴導犬の支援を行っています。
- ②聴導犬候補の訓練支援
→すでに適正があると認められ訓練を開始している候補犬の訓練期間中の支援を行っています。
- ③聴導犬の育成支援
→ペットファーストに在籍している子犬の適正評価を行い、適正があると思われる数頭を聴導犬として育成していきます。

これまで日本補助犬協会と協働で育成活動を行い、10頭の聴導犬を育成してきました。これからまだまだ認知度が低い聴導犬の普及促進・育成活動を行ってまいります。

■ 聴導犬訓練内容

①基礎訓練

適正が認められた子犬は、一歳ごろまでパピーファミリーに委託して社会化を行います。月1回しつけ教室へ通い、家庭犬としてのマナーを身に付けます。

②応用訓練（聴導動作訓練）

訓練士のもと、座れ・待てなどの基本訓練や商業施設、レストラン、電車、バスなどでの訓練、ユーザーが必要とする音を知らせる聴導訓練を約10ヵ月行います。

③合同訓練

訓練の最終段階では、合宿施設やユーザーの自宅など、実際の活動環境に近い状況で、一緒に訓練を行います。飼育方法や法律などの講習も受け、認定試験に備えます。

聴導犬として、特に大切な素質は「人に対する愛着」です。すべての基礎となる「人と一緒に何かをすることを楽しむ」素地を伸ばしながら、訓練を重ねていきます。

■ 聴導犬ユーザーの方/餡子ちゃん



■ 餡子ちゃんをパートナーとするユーザーの方より一言

この度、餡子が聴導犬認定試験に合格することが出来ました。たくさんのサポート、本当にありがとうございます。補聴器を外すと全く聞こえないため、餡子には毎回誘導（特に朝の目覚まし）してもらってとても助かっています。聴覚障がい者は白杖や車いすを使わないので、ぱっと見て健常人とわかってしまい聴覚障がい者とはすぐに理解・認識してもらえません。「聴覚障がい者＝聴導犬同伴」という連想がしにくい社会環境だとも思います。聴導犬への理解度・認識度向上の啓発ができれば、聴覚障がい者はもっと助かる場面が多くなり、より社会参加がしやすくなるだろうと思っています。今後は、障がい者の社会参加の一環としてユーザーからの働きかけや、積極的な普及活動にもつなげてまいりたいと思います。

■ 担当訓練士より

共同訓練を重ねていく中でユーザーさんと餡子がユニットになっていく姿を見ることが出来てとても嬉しく思います。今まで餡子に関わってきた色々な方の想いは嬉しい反面、少しプレッシャーにも感じることがありましたが、お二人のお手伝いが出来てよかったです。餡子には、これからも色々な聴導動作に挑戦してほしいですし、ユーザーの方には餡子との生活を楽しんでいただけたらと思っています。また、訓練士としては、ユーザーの方が入店拒否等の不安なく過ごせるように、当たり前前に聴導犬と出かけられるような世の中になってほしいと願っています。

■ Pets always come first プロジェクトとは

「すべてのペットと関わる人を笑顔にする。」をコンセプトにペットファーストグループが行っているCSR活動の名称です。“聴導犬育成支援”だけでなく、“保護犬・猫の里親探し”、“災害救助犬への支援”、“マイクロチップの普及活動”、“遺伝性疾患・伝染性疾患の大学との共同研究”などの活動を行っています。これらは、ペットファーストでお迎えいただくごとに、1頭あたり1,000円と、動物病院事業やペットホテル・トリミングの売上の一部をプロジェクトの活動資金としています。

ペットの総合企業としてペットとの共存社会を豊かに、ペット業界における社会的課題の解決を目指し継続的に取り組んでいます。